令和３年度　福祉・健康のつどい開催

多年に亘り社会福祉事業等に献身的に従事され、功績のあった方々を顕彰する「福祉・健康のつどい」を令和３年１２月１９日に大川市老人クラブ連合会と共催にて開催しました。

今回の福祉・健康のつどいは、新型コロナウイルスの影響で様々な催し物は出来ず、表彰関係者のみで式典を執り行いました。

今回受賞された皆様、誠におめでとうございます。

また、コロナ禍にも関わらず今回の開催にあたりご協力いただきました皆様に改めまして感謝申し上げます。

表彰者名簿　（順不同、敬称略）

【民生委員児童委員特別功労者】
・石井　礼子　・金子　栄子　・吉原　万佐美
・近藤　紘子

【社会福祉事業特別功労者】
・阿津坂　芳徳　・中村　千賀子
・高見　悦雄　・大石　文明　・水野　秀子

【民生委員児童委員功労者】
・古賀　光子

【社会福祉事業功労者】
・酒見　義男

【社会福祉協助者】
・柏原　勝代　・松田　洋一　・菰方　紀夫

【福祉作文入賞者】
・南部　理珠　（大川市長賞）
・本村　篤志　（大川市議会議長賞）
・宮原　栞奈　（大川市教育委員会教育長賞）
・倉岡　航暉　（大川市社会福祉協議会会長賞）
・赤司　彩夏　（大川市社会福祉協議会会長奨励賞）
・窪田　成那　（大川市社会福祉協議会会長奨励賞）

【大川市老人クラブ連合会会長表彰】
・酒見　義男　・古賀　政子

第１回　ふくし川柳コンテスト　作品発表

人とふれあうことのできない時期だからこそ、繋がりは大切にしたい。そんな想いを込めて、第一回ふくし川柳コンテストを開催しました。お題は「新型コロナウイルス」「コロナ禍」。小学生から高齢者の皆さんより全 94 点の作品をご応募いただきました。こんな時期でも頑張ろうと勇気の出る作品、思わずクスッと明るい気持ちになる作品、そうだよねと納得の作品・・・たくさんのご応募ありがとうございました。

【最優秀作品】
「コロナかで　しずかに食べる　昼ごはん」
古賀　美咲（学生の部）
「コロナ禍は　何する課だと　爺（じじ）が聞く」
吉田　浩則（一般の部）
「卒寿超え　睨むコロナを　ねじ伏せる」
甲斐　悟（高齢者の部）

【社会福祉協議会会長賞】
「マスクはね　できない人も　いるんだよ」
中村　友香（学生の部）
「コロナ禍で　覚えた楽さ　ノーメイク」
木下　明子（一般の部）
「家のみで　ビールの空き缶　たまりすぎ」
木下　キヨ子（高齢者の部）

【老人クラブ連合会会長賞】　（順不同、敬称略）
「コロナはね　いつでもかんせん　おかしくない」
山浦　紗英（学生の部）
「電車内　注目される　セキ（席・咳）　ひとつ」
谷川　義博（一般の部）
「迂闊にも　マスクのままで　うがいする」
田中　光夫（高齢者の部）

【ピックアップ掲載】
「コロナ自粛　ひとりごとなど　増えてくる」　田辺和子（高齢者の部）
「コロナ禍で　口にチャックと　目で合図」　成平エイ子（高齢者の部）
「家こもり　昔おこられ　今賞賛」　松本輝代（高齢者の部）
「マスクなし　みんなでがんばる　もうすこし」　辻朋士（学生の部）
「コロナ禍も　オリ・パラ感動　ありがとう」　白濱海斗（学生の部）
「パパマスク　いつもにあうよ　イケメンだ」　濵田咲菜（学生の部）
※審査には大川川柳会えんのき様にもご協力いただきました。
ありがとうございました。